



平成29年度 第1回まなびあいサロン

テーマ：『楽しくおしゃべりしよう！』

アドバイザー：地域支援センター 宗形いづみ 先生

6月8日（木）に、第1回まなびあいサロンが行われ、みみちゃん教室や本校幼稚部の保護者の皆さん、幼稚園の先生に参加していただきました。

今回のアドバイザーは、本校の早期教育相談に長年携わってきた宗形いづみ先生で、参加された保護者の皆さんとはお馴染みなので、笑顔で語られる宗形先生を囲み、和やかにうなずき合う場面が見られました。

宗形先生からは、補聴器や人工内耳をつけるとおしゃべりを期待し、ことばで話すことばかりに目が向いてしまうけれど、ありのままのお子さんを受け止めて、丁寧に心を込めたやりとりが大切だというお話がありました。また、中川信子さんの「ことばをはぐくむ」という本を紹介しながら、ことばの発達をビルに例え、ビルを建てるには土台づくりが必要で、お子さんの全体的な発達や共感関係などの段階をおった土台がしっかりしていれば、ことばを覚えたときに、ことばを豊かに広げる力や応用力といった本当の力が育つ。「急がば、回れ！」で、お子さんからのメッセージを受け取りながら、かかわりを楽しんで欲しいとのことでした。

さらに、参加された方同士で悩みに答えたり応援したりして励まし合い、気持ちを共有できたまなびあいサロンになりました。



参加者の感想

- ☆ 補聴器をつけたから早くことばがでて欲しい、早くおしゃべりをしたいとあせっていたと思います。今日の話聞き、段階が大事だという事がわかりました。今は、ゆっくりと気持ちを共感して丁寧にかかわっていきたいと思います。
- ☆ 言葉だけでなく、あらゆる面（身ぶり手ぶりといったジェスチャー）でのやりとりがとても大切だと感じました。
- ☆ 焦らず初心に戻ってゆっくりゆっくり子どものペースで過ごしていきたいと思えます。先輩保護者の方の意見も聞けて、とても勉強になりました。